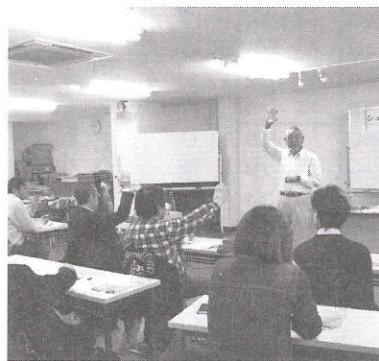


講師には当協会会長・日本靴小売商連盟シユーフィッター講師の小堤幸雄氏が担当して「健康新足を守るための靴の選び方。何故、靴が一番大切?」と題し行われた。



を入れて生産する、など色々な理由がある。シユーフィッターの役割として調整技術も勉強していく必要が増えている。

更に購入はいつが良いか?良い靴とは?良い店舗は?履き良い靴は?等の説明をした。

続いて靴の役割、目的別の靴選び、靴の寿命、正しい靴の履き方等話が続いた。

最後に足の障害として、外反母趾などの障害の説明、予防の方法など説明を行い、お客様に信頼されるシユーフィッターによる注意事項や心がけの話で講義は終了した。参加者は熱心に受講していた。

まず講師の自己紹介から始まり、「これほど科学が進歩しても口ボットで一足歩行がやつてしまたばかり。足はその難しいことを一步一歩デリケートに行い、靴はその補助を担っている。」から話を復習した。

さらにシユーフィッターの役割として、知識を元に正しい靴選びのお手伝いすることの重要性を説明。

また、小売店に対する不満で「サイズがない」が多いが、メークはどうしても売れる部分に力

を入れて生産する、など色々な理由がある。シユーフィッターの役割として調整技術も勉強していく必要が増えている。

平成28年1月29日、午前11時より、西村記念ホールに於いて17名(委任状7名含む)が参加し、日本靴小売商連盟の第46回通常総会が開催された。

司会の栗原茂常務より本日の参加者の報告と本総会の成立を宣言し、開会した。

小堤幸雄会長が「平素皆様には、当連盟のシユーフィッターや養成講座を始め、各事業に多大なるご支援ご協力を賜りまして誠に有難うございます。皆様ご存知のように昨年も厳しい状況で、特に11、12月の気温の高さに冬物の販売が低迷いたしました。

昨年春よりシユーフィッター養成講座を足と靴と健康協議会(FHA)に委託いたしました。まだ当協会からの受講者は少ない状況ですが、既に最初の認定者第一号が出ました。今後に期待したいと思います。」と挨拶。

統いて議長選出は規約13条により会長の小堤氏を任命し議事に入った。

第二号議案

平成28年度事業計画案及び収支予算案承認について

佐宗秀行及び田中早映子事務局から詳細な報告を行った。議長より質問、意見を求められたが異議なく承認され、原案どおり決定し、総会は無事

シユーフィッター既得者勉強会

表記勉強会が昨年12月15日(火)午前10時より12時まで東靴協会西村記念ホールにおいて13名が参加して開催された。

一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252)5656
(2月号)

シユーフィッターの皆様へ
住所・勤務先等変更が生じた時は必ず協会までご連絡を願います

日本靴小売商連盟 通常総会開催



平成27年度事業報告及び収支決算報告について

事務局の佐宗秀行氏と田中早映子氏から資料に基づき詳細な説明があった。

統いて須藤教夫監事より「岡本監事、青木監事と共に監査したところ、正確かつ適正に処理されていることを確認しました。」の報告があった。議長より場内に詰り意義無く承認された。



新年交歓会開催

各テーブルでは、昨年の景況や、初売り出しの状況、暖冬で鈍いスタートとはなったが、希望をもって頑張ろうと話に花が咲き盛りあがっていた。

1月22日の役員会終了後、平成28年の新年交歓会が行われた。司会の松戸副会長の開会に続き、小堤会長より新年の挨拶。清水相談役の乾杯の音頭で元気に杯を上げ、懇親会に入った。

終了した。

その後懇親会に移り、会長

より「当連盟に対する御意見、御希望やら、業界内外のお話など、お聞かせいただきたい。」との呼びかけで一同、話も弾み和氣あいあいのうちにね開きとなつた。

靴小売業売上高上位50社

順位	企業名	本社所在地	売上(百万)	前期比(%)	従業員(人)	店舗数
1	エービーシー・マート	東京・渋谷区	159,655	109.8	6,728	784
2	チヨダ	東京・杉並区	107,054	96.7	1,504	1,134
3	ジーフット	愛知・名古屋市	103,467	105.2	3,971	810
4	フィットハウス	岐阜・可児市	20,671	99.3	653	31
5	ダイアナ	東京・渋谷区	16,120	99.0	500	96
6	神戸レザークロス	兵庫・神戸市	12,860	100.8	456	123
7	シユーマート	長野・長野市	11,806	104.8	600	35
8	かねまつ	東京・中央区	10,400	93.7	534	63
9	東京靴	島根・松江市	10,183	100.1	584	38
10	ニッカ	千葉・浦安市	9,156	96.7	561	77
11	タケヤ	東京・立川市	9,000	105.9	660	150
12	つるや	愛媛・松山市	8,580	103.3	713	104
13	ダブルエー	東京・渋谷区	8,212	130.3	443	75
14	モード・エ・ジャコモ	東京・港区	6,300	100.0	320	62
15	銀座ヨシノヤ	東京・台東区	5,415	89.9	238	75
16	おく田	岐阜・岐阜市	4,802	98.9	260	49
17	アシックス	兵庫・神戸市	4,652	(決算期変更)	—	78
18	ワシントン靴店	東京・港区	4,534	91.6	153	34
19	ワシントン靴店	富山・富山市	4,214	105.5	240	34
20	靴のホッタ	愛知・清州市	3,944	104.6	220	44
21	ジェイ・ビー	大阪・大阪市	3,867	105.5	420	63
22	fitfit	東京・世田谷区	3,787	134.5	20	34
23	マレーマレー・ジャパン	兵庫・神戸市	3,114	110.5	160	43
24	テヅカ	宮崎・宮崎市	2,722	99.7	168	31
25	シュー・パブ	東京・港区	2,400	96.0	140	43
26	ショービ	静岡・浜松市	2,165	100.2	230	43
27	ボンフカヤ	福岡・福岡市	2,112	95.3	140	31
28	アマガサ(小売部門)	東京・台東区	2,104	126.4	126	27
29	ノーフォール	千葉・千葉市	1,960	105.9	50	18
30	靴の尚美堂	鹿児島市	1,861	106.5	104	25
31	ミハマ商会	神奈川・横浜市	1,743	98.0	70	16
32	ビーンズ	福井・福井市	1,683	107.1	55	20
33	マドラスファッショն	愛知・名古屋市	1,562	105.0	50	11
34	マリング商事	大阪・大阪市	1,340	(決算期変更)	90	20
35	橋文	青森・八戸市	1,202	102.3	60	6
36	鈴忠	東京・豊島区	1,150	101.8	45	8
37	東北リーガルシューズ	千葉・浦安市	1,060	86.9	61	10
38	ピットリオ	愛知・名古屋市	1,042	105.7	10	3
39	メルヘン	北海道・江別市	930	111.2	20	20
40	まつや	和歌山市	900	99.4	40	7
41	千足屋	山形・山形市	860	92.8	46	8
42	マイルズ	埼玉・さいたま市	820	99.4	20	2
43	ダイアナユースエイ	東京・渋谷区	800	100.5	35	7
44	ジェリコ	大分・中津市	780	104.0	85	24
45	タウン・タウンシューズ	岡山・岡山市	756	91.1	60	15
46	オカヘイ本店	和歌山市	755	92.1	51	7
47	サンテングヤ	福岡・久留米市	700	93.3	55	5
48	つるや	高知・高知市	690	89.6	60	9
49	イバラキヤ	大阪・高槻市	640	97.0	34	7
50	福寿商店	愛知・名古屋市	600	96.5	10	4

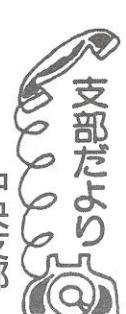
昨年度靴小売業
売上高ランキング
ベスト50社

シユーズポスト紙1月5日号によると、靴小売業の売上高ベスト50社は次のように掲載された。上位50社の合計売り上げは、5600億円、前期3.0%

増加となつた。前期を上回った企業は25社、うち約2桁アップは5社(太字)があつた。前期割れは22社で好不調は明確に分かれた。1千億円

を超える企業は3社で、この大手3社で3600億円を超えて益々シェアを拡大し格差が広がってきている。

中央支部(井本支部長)は、1月22日(金)午後6時より、晴海「ホテルマリナーズコート」で懇親会を開催された。専務理事にもご出席頂いた。井本支部長の新年の意願は、2016年の乾杯の音挨拶い宗会となりました。井本支部長は、2016年の懇親会に移った。和気あい有意義な新年があ頭掻い宗会とも会



★投稿募集★

これからも皆様に喜ばれる記事として、身近な出来事も取り上げてまいります。街のこと、業界のこと、旅の思い出など、情報、投稿をお待ちしております。

● 2015年の年次会議

副会長栗原茂

2015年は靴業界にとって厳しい年であった。季節商品の不振、特に暖冬のためブーツ、防寒商品が不振であり、それらが動き出したのは1月のセールに入つてからであった。また、スニーカーブームは男性だけでなく女性にも広がり、ニューバランス、ナイキ、スケッチャーズが人気を集め、ヤングから団塊ジニア、団塊世代まで広がつていった。既にシューズマーケットの半分はスニーカーであり、スニーカーの扱いが、靴専門店の業績を左右したともいえる一年であった。

さて、来年4月には消費税の10%への値上げが予定されており、今年はそれに備える年だともいえる。また、大きな変化の年であり、TPPが発効するなど、TPP加盟国からの革靴輸入は、二次関税、一次関税が同率となり、10年間で関税も撤廃される。また、ヨーロッパとも交渉が進行中で、もし交渉が妥結すれば、競合は国内の専門店、アパレル、ネット販売だけでなく、海外のインターネット業者も新たな競争相手となつ

てくる。逆に、MADE IN JAPANを打ち出し、海外に販路を広げることも考慮すべきであろう。

人口構成を考えると、団塊世代は65~70歳となり、この世代へ何を提案するかが大きな課題となる。青春時代にジーンズになじんだ世代であり、日常生活でカジュアル化がより進むと思われる。現在のコンフォートシューズより、履きやすく、軽く、疲れにくく、カラフルで若々しい履物。スニーカー！また、履きやすく楽なフラットシューズ、アウトドアシューズも注目を集めると思われる。

ショッピングセンターは、ハレの場から日常生活にとけこんだ施設に変わっている。イオンはかつてタヌキのできる郊外に出店すると言っていたが、現在の成功条件は「駅近、大型駐車場、ラウンド動線の大型SCで食料品が強い」である。今後は同業種の退店後の出店は慎重に検討すべきであろう。その意味では、郊外と差別化された都市中心部の専門店にもチャンスがありそうだ。

また都心部では、外国人観光客への対応が重要となつている。特に消費税が10%に上がるなど、免税店などのかどうかは、業績に大きな影響を与えるだろう。とにかく、管轄の税務署に免税店の申請を行うことから始めよう。

さて、アマガサは12月の直営既存店の前年比が+6.3%となつたという。また、サイズ別に複数展示することにより、在庫を探す時間が減つて接客時間が増え、売上が上がつたと聞く。過去の経験にとらわれず、その時々の時代にあつたやり方が何かを考慮すべきだろう。

船井総研の創業者である故・船井幸雄氏は「成功の3条件とは、『素直・プラス発想・勉強好き』である」という言葉を残し、原理原則をふまえ、時に乗ることが重要だと述べています。身近にできることから始めよう！

MADE IN JAPAN

靴業界はこの需要を取り込んでいかなくてはなりません。インバウンドという、家電・化粧品・薬・食品などが話題となります。日本のお客様は、「MADE IN JAPAN」を狙つているのです。

ある百貨店の靴売り場には、中国人がぞろぞろ、やつてきます。中には欧米人も来ていま

す。中国のお客様は、「MADE IN JAPAN」を狙つしているのです。

デザインがカッコ良く、素材が良い靴でも、決め手は「日本

「売れる店長の全技術」

著者・丹羽英之

発行・株式会社 かんき出版

定価・1,500円+税

2015年12月14日第1刷発行

「インバウンド需要に対応した対応をキチツとした対応を」

製」なのです。

欧米人にはそこまでのこだわりはありませんが、円安も影響し、来客が増えています。接客対応のため、売り場には中国語と英語が必須になります。

靴を買い、4千円の消費税が戻ることは重要なことです。是非、免税店登録をして対応しましょ。

税になるのか？です。5万円の靴を買ひ、4千円の消費税が戻ることで、重要なポイントは、免税店登録をして対応します。

最近の流通業界の話題といえば、「中国人の爆買い」に尽きるでしょう。銀座の日抜き通りを歩くと、瞬く間に果たして銀座なのか？と思うほど中国人が闊歩しています。買い物客も多い。今や小売りはインバウンド需要がないと、やつて行けないほどです。

多くの人が、銀座で靴を買ひ、4千円の消費税が戻ることで、重要なポイントは、免税店登録をして対応します。

日本のお客様は、「MADE IN JAPAN」を狙つしているのです。

中国人の購入パターンは、とめ買いが多いのです。日本人には押し付けの接客は禁物ですが、遠慮せずに、どしどしあがめることで複数買いにつながります。

理事会・支部連絡会

だより

平成二十八年二月二十一日(金)
午後二時、西村記念ホール

三、「靴の記念日」の催事について
田中省一理事より、ポスター
原案の提示があり、同時に検討し
てもらつた。また、スケジュールほ
り「お買物券の処理について詳
細な説明があつた。

小堤会長より「ファッショント
転換期も進み以前の定番もお

店ごとの定番になつてゐる。あ
る衣料系の新興チェーン店では
ちよつとした工夫をした黒の定
番パンプスで万と言ふ数字の足
数を販売するところもありま
す。景気上昇を期待できない
時代、何らのアイディアが必要
だと思います。このところ雨が
多く路面店は大変ですが、皆
様健康に留意して励んで頂き
たい。本年も宜しくお願ひいた
します。」と挨拶。

続いて司会の松戸副会長よ
り、本日の出席者数が30名との
報告の後、議事に入った。

商工会議所景気観測

日本商工会議所では、1月
に行つた調査で、今後の状況を
「足踏み続く。先行きも不透
明感から慎重な見方崩れず」
とした。

四、日本靴小売商連盟 通常総会について

佐宗専務理事より、在京役
員会経過報告と1月29日金曜
日午前11時より開催される總
会の審議内容、更に昨今の既
得者勉強会、養成講座の実情
について詳細な説明があつた。

五、シユーフィットー

既得者勉強会について
小堤会長より2月16日火曜
日午前10時より開催される既
得者勉強会の内容について計
測点が増えていることなど詳
細な説明を行つた。

六、その他について

栗原茂副会長より市況につ
いて、婦人物の売れ行きの悪さ
が目立ち、特にロングブーツ、長
靴は散々たるものであつた。別
のデータでは、この時期平均気
温が1°C上ると衣料靴市場
で4000億円下がると言わ
れ、今年の12月は1.9°C+でなん
と8000億円近くの売り上
げ減と予想される。これからは
すべて商品に関しても、多角的
な視点でとらえて品揃えをし
てゆくことが大事と提案。

栗原茂副会長より市況につ
いて、婦人物の売れ行きの悪さ
が目立ち、特にロングブーツ、長
靴は散々たるものであつた。別
のデータでは、この時期平均気
温が1°C上ると衣料靴市場
で4000億円下がると言わ
れ、今年の12月は1.9°C+でなん
と8000億円近くの売り上
げ減と予想される。これからは
すべて商品に関しても、多角的
な視点でとらえて品揃えをし
てゆくことが大事と提案。

一、親和会総会について
松戸副会長より、2月17・18
日箱根湯本「南風荘」にて開
催されます。まだ余裕もある
ので事務局へ申込みするよう
要請した。

二、工場見学について
佐宗専務理事より、2月9日
火曜日大塚製靴横浜日吉工場
及びクツのオーツカ資料館見学
の件、現在約25名位の応募があ
る。と報告された。また、当日の
スケジュールが紹介された。

（4）http://www.toukutsu-kyokai.jp/

日本商工会議所では、1月
に行つた調査で、今後の状況を
「足踏み続く。先行きも不透
明感から慎重な見方崩れず」
とした。

中国経済の減速、個人消費
の鈍さなどに伴う売り上げ減
少に加え、年明け以降の株価、
為替の不安定な推移が中小企
業のマインドを押し下げた。
しかし、観光需要や自動車関
連などは堅調に推移しており、
実態は、昨年秋頃からの足踏
み状態が続いている。

小売業は、高付加価値商品
への人気と低価格志向の二極
化が進む中、インバウンドや初
売りの下支えがあつた一方、暖
冬による冬物商品の売り上げ
の低迷、寒波による客足の伸
び悩みなど強弱が混在し、ほぼ
横ばいとなつた。

今後は、春節などに伴う觀
光需要や、住宅投資による下支
えのほか、原油安を背景に原
材料、燃料などの価格下落に
伴う収支改善を期待する声が
聞こえる。他方、新興国経済の
減速や株価、為替の不安定な
推移、人手不足の影響拡大な
どにより景気の不透明感が増
し、先行きに慎重な見方が続
く。

景況についてのアンケート結果

対象月…
(27年12月)(28年1月)

▶ 全体的な業況	良 い	9.1%	22.2%
	悪 い	81.8%	66.7%
	変わらず	9.1%	11.1%
▶ 売上げ	前月比 増えた	36.4%	22.2%
	減った	54.5%	55.6%
	同 じ	9.1%	22.2%
前年同月比	増えた	27.3%	33.3%
	減った	63.6%	66.7%
	同 じ	9.1%	0.0%
▶ 販売価格は前月比	騰貴した	0.0%	11.1%
	下落した	9.1%	22.2%
	同 じ	90.9%	66.7%
▶ 販売経費は前月比	増えた	18.2%	0.0%
	減った	9.1%	22.2%
	同 じ	72.7%	77.8%

東京都中小企業景況調査 {11月}

業 態 : 3か月ぶりに▲20台に戻す
見通し:回復への期待感がわずかに高まる



東京都中小企業景況調査 {12月}

業 態 : 模様眺め
見通し:弱含み



小売業

